

# 平成30年度 WAM助成シンポジウム 「多様な連携のカタチ」

## 子どもの貧困問題解決のための 支援団体間ネットワークの構築

おかげさまで  
10周年



**KIDS' DOOR**  
NPO法人 キッズドア

## プロフィール

千葉大学工学部卒  
2009年特定非営利活動法人キッズドアを設立

内閣府子どもの貧困対策有識者会議構成員  
内閣府子どもの未来応援国民運動発起人  
厚生労働省生活困窮者自立支援  
及び生活保護部会委員  
全国子どもの貧困・教育支援団体協議会副幹事  
専修大学非常勤講師

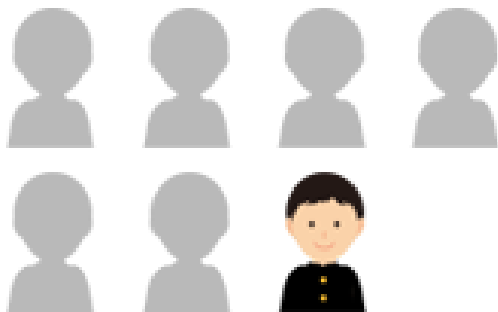
著書  
「子どもの貧困 未来へつなぐためにできること」  
(水曜社)



## Vision

# すべての子どもが夢や希望を持てる社会の実現

日本の子どもの相対的貧困率は、先進国の中で上位  
日本にも満足にご飯が食べられない子どもはいます。



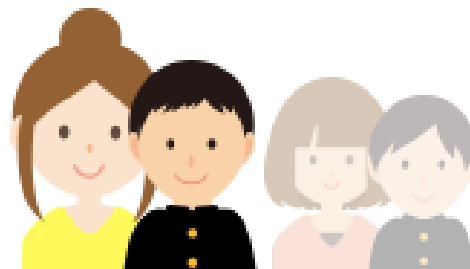
## 1/7

子どもの7人に1人が貧困

保護者1人 + 子ども1人

年間**177万円未満**で暮らす生活

OECD加盟34カ国中9番目



## 50.8%

ひとり親家庭の子どもの  
2人に1人は貧困です

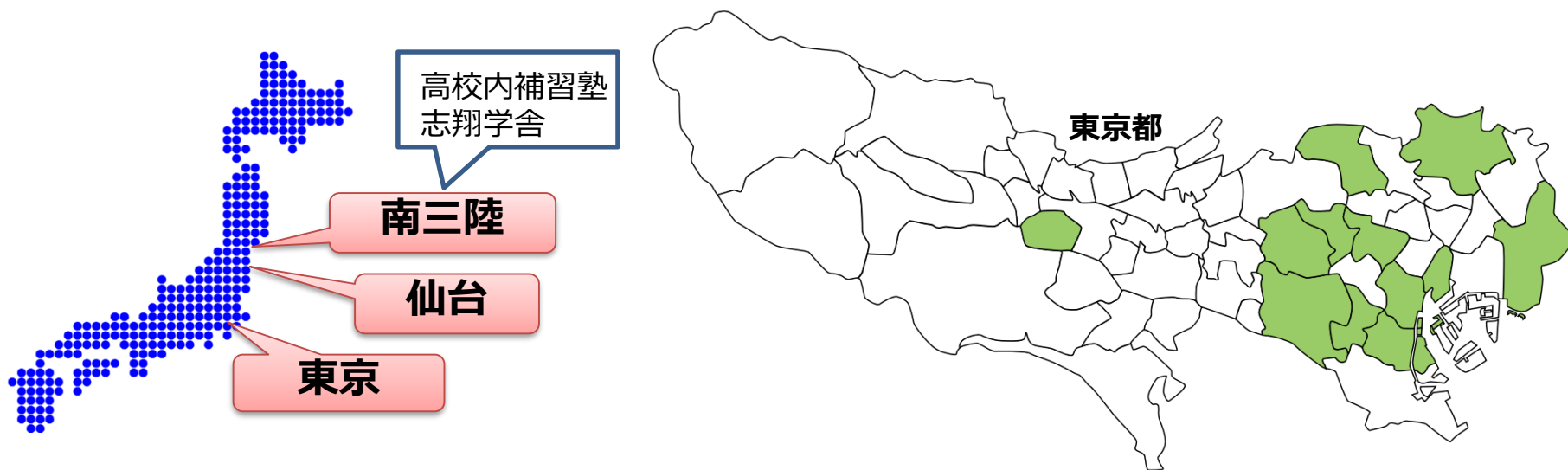
ひとり親家庭の貧困率は、  
OECD加盟34カ国中1番

ひとり親や生活困窮家庭の子どものための無料学習支援を2009年より実施  
 学習支援をスタートしたのも 福祉医療機構のWAM助成でした

## 2017年度キッズドア無料学習会・居場所運営実績

事業数	学習会拠点数	登録生徒数	登録ボランティア数
33事業	62か所	2064名	1085名

高校進学 221名（進学率100%） 大学受験 17名



# 学習支援の活動で感じた2つの課題

社会の子どもの貧困や教育格差に対する認知が高まり、日本全国で無料学習会に多くの団体が取組むようになったが・・・

地方では、子どもの貧困や教育支援に関する情報が少ない。良い学習会ができない。

無料学習会だけでは、子どもの貧困は解決できない。(収入、奨学金、食etc)



**1 団体では解決不可能→連携へ**

# 子どもの貧困問題の解決に 向けた支援者団体間の2軸で ネットワーク構築

学習支援だけでは  
子どもの貧困は解決しない

子どもの貧困解決に向けて  
**違う領域**で活動している団体

<助成事業>  
子どもの貧困解決支援者団体  
連絡会議

キッズドア  
学習支援

**日本全国**の学習支援を  
行なっている団体

キッズドアだけでは  
日本全国をカバーできない

<助成事業>  
東日本大震災被災地での子ども支援を行う団体のネットワーク会議  
「Kids ` Day Japan」 子どもの貧困・被災地の子ども支援シンポジウム開催

## 連携 1

# 子どもの貧困解決支援者団体連絡会議

## 活動フィールドの違う団体が連携

NPO法人フローレンス（病児保育）

NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ（ひとり親家庭支援）

NPO法人キッズドア（学習支援）

児童扶養手当の複数子加算の額が少なすぎる  
2人、3人の子どもを育てるシングルマザーは苦しすぎる

児童扶養手当の増額を求めるプロジェクトを実施  
(ネット署名38908筆、記者会見 etc)

## キャンペーン成功

# 児童扶養手当の複数子加算増額！



## 連携 1

### 全国子どもの貧困イニシアチブ

わたしたちは政策提言を通して、こどもの貧困解決を目指します。

幹事：フローレンス、しんぐるまざあず・ふぉーらむ、キッズドア、もやい

### 2016年 給付型奨学金の創設キャンペーン 成功



#### 連携の発展→新しいつながりへ

- ・こども宅食  
(文京区・フローレンス・RCF・キッズドア・JFRA・村上財団・ココネット)
- ・ブラック校則をなくそう！プロジェクト  
(荻上チキ、STOPいじめナビ、LGBTアクティビスト 等)
- ・児童虐待をなくそう！キャンペーン  
(フローレンス、PICIES、小児科医、キッズドア 等)

## さらなる発展の例 = こども宅食（コレクティブインパクトの創出） 2017年より低所得子育て家庭に食品を届ける。ふるさと納税で運営資金を獲得 2018年10月からは文京区の600世帯へ配送



[こども宅食とは](#)
[最新情報を知る](#)
[支援をする](#)
[お問合せ](#)



**ファンレイジング**

日本の社会的課題解決のために活動する非営利団体への使途指定寄付や助成を通じ、団体と共に議論を重ねます。そして、必要とする方々や事象に対して、より多くの支援が継続的に届くようきっかけとなる支援をしています。



村上財団  
The Murakami Family Foundation



**企業との連携**

東日本大震災を機に設立し、セクターを越えた復興事業の立案、官民関係者間の諸調整を担う「社会事業コーディネーター」集団です。東北の水産業・農業復興支援にてキリン株式会社等と連携しています。



RCF Revisor as Coordinator for the Future



**食料配送・ケース管理**

日本で先駆けて子どもの貧困に取り組んだ団体です。主に家庭の経済的な理由により塾に通えない中学・高校生向けの学習支援を実施。仙台フードバンク事業を実施しています。





**社会的インパクト評価**

寄付10万円時代の実現を目指して、ファンレイザーのための資格制度や、寄付白書の発行を実施しています。NPOの事業改善・寄付促進等を目的とした社会的インパクト評価の普及啓発のため、「社会的インパクト評価イニシアチブ」を運営しています。



日本ファンレイジング協会



**ふるさと納税受付・申込案内**

ふるさと納税を活用し、こども宅食の運営資金を受付けています。また、ひとり親家庭に対する児童扶養手当や、小中学生の学用品・給食費などの就学援助を利用する方に、申込案内をお送りします。



文京区



**全体企画/広報・寄付調達**

子育て・子どもの貧困等の課題に対し、「訪問型育児保育」「障害児保育」「特別養子縁組」などの事業を展開しています。「孤食」等の悩みがある子どもの居場所づくりとして、月島で「わんがんこども食堂」を運営しました。



Florence  
認定NPO法人 フローレンス



[ふるさと納税ガイド](#)

プロジェクト一覧
お気に入り

TOP > 受付中プロジェクト > 命をつなぐ「こども宅食」で、1000世帯の家族の未来を変えたい!

東京都文京区



あなたのふるさと納税で子ども達を救おう

※初募集期間: 2018年4月1日 ~ 2019年3月31日 (365日間)

寄附金額

## 33,576,637円

達成率 **88.4%**

支援人数 392人

目標金額 38,000,000円  
終了まで 188日 / 365日

お気に入り追加

ふるさと納税で応援

ふるさと納税を活用したクラウドファンディング

このプロジェクトへの応援メッセージ

どうぞ大事に使って下さい

2018年9月4日 12:54

プロジェクト概要

東京都文京区について

**こども宅食コンソーシアム(東京都文京区)**

こども宅食は、東京都文京区と5つの非営利団体が共同で運営しています。生活の困しいひとり親家庭など1,000世帯のご自宅に1-2ヶ月に一度食品を届け、それを切り口に子どもの貧困問題を解決する新しいセーフティネットを創ります。

まずは小さな成功事例を創り、同じ仕組みを全国に広げるのが私たちの目標です。

【8/21】直轄文京区役所窓口へお届いたが、当プロジェクトに対しご寄付いただいた分の金額も追加いたしました。

## 連携2

# 日本全国の学習支援を行っている団体

一つ一つの団体は小さいけれど  
目的や活動の悩みや同じ  
(活動資金の不足、ボランティア不足 etc)

## 業界団体が必要



## 全国子どもの貧困・教育支援団体協議会 設立へ

会員団体：71団体 / 協力団体：2団体（2018年6月）

## 連携 2



### 全国子どもの貧困・教育支援団体協議会

すべての子どもが夢や希望を持つことができる社会の実現を目指します。

TOP

子どもの現状

当協議会について

入会について

お問い合わせ



#### 協議会からのお知らせ

- 2018/09/07 [【ご報告】 さつき株式会社様より、電子黒板をご寄贈していただきました！](#)
- 2018/07/16 [【ご協力お願い】 大阪府北部地震被災による「子どもたちの学びの場」の再建に向けて](#)
- 2017/10/20 [【お知らせ】 10月25日（水）@東京/eラーニングアワード2017フォーラム](#)
- 2017/10/11 [【お知らせ】 第2回未来応援ネットワーク事業（子供の未来応援基金）募集開始！](#)
- 2017/08/04 [【ご報告】 定時総会と合宿勉強会](#)

協議会入会について

f Facebook

会員団体・協力団体

- ・内閣府子どもの未来応援国民運動や支援したい企業と、全国の団体をつなぐ（例）タブレットを500台寄付したい、模試の費用を寄付したい
- ・協議会で助成金を受け取り、研修合宿を実施。ノウハウを共有。

# 連携の成功要因

- 1. 連携は手段。連携する目的を明確に**
- 2. 1年後のGOALイメージを最初から設定  
助成金を活用したインパクトの創出を**
- 3. 幹事団体は黒子  
連携に参加したメンバーにメリットを提供**